

2017年5月30日

各位

原水爆禁止 2017 年世界大会・科学者集会 in 高知
実行委員会委員長 岩田裕

原水爆禁止 2017 年世界大会・科学者集会 in 高知へのお誘いと
賛同・支援募金のお願い

拝啓

日ごろから平和をまもる・人権擁護の立場から、様々な分野でご活躍されている皆様方に、心から敬意を表します。今年は現在の形となって行われた科学者集会の 30 周年にあたります。振り返りますと、日本科学者会議の創立 20 周年を記念して開催されました「核兵器の完全禁止・廃絶をめざす国際シンポジウム」(1985 年 7 月 30～31 日)の成功を背景に 1987 年の第 22 回定期大会で決定されたことにまで遡ることになります。その第 1 回集会は、長崎で「核兵器廃絶・被曝者援護と科学者の責任」のテーマで開催されました。それから 30 年、記念すべき集会を本会の皆さまの御支持を得て高知で開催できますことは大きな喜びでありますとともに、科学者会議四国地区及び高知支部にとりまして今後の活動への大きな励ましにしなければとの思いで一杯でございます。

さて、このたびの原水爆禁止世界大会・科学者集会に際しましては、『日本の科学者 2017 年 6 月号』の表紙裏面にお示ししています通り、7 月 30 日(日)にメインテーマ「核兵器禁止条約の締結と核被災者の救済を目指して」で、高知県高知市本町・高新文化ホール(高知新聞放送会館東館 7 階)において開催する運びとなりました。

この科学者集会は原水爆禁止世界大会の関連行事ではありますが、私たち実行委員会が目指すのは「核兵器禁止条約に向けて」(仮)、「軍学共同反対と科学者の責務」(仮)、「ビキニ事件と科学者の役割」、「ビキニ国賠訴訟の現状と意義」、「活断層と伊方原発の危険性」(仮)、の演題で報告を行い、様々な専門家と市民・学生の皆様が忌憚なく議論し、諸課題の解決に向けて連帯の輪を広げることにあります。

また、7 月 31 日(月)には、フィールドワークとして「高知の戦争遺跡巡り」を企画しました。高知市の平和資料館・草の家に集合し、事前学習後、南国市の高知竜馬空港周辺の掩体壕(えんたいごう)、日本軍建設のコンクリート製の防衛陣地(トーチカ)、特殊潜航艇爆破碑等を巡る活動は、本集会の意義を更に深めることと確信しております。

この科学者集会は実行委員会によって運営されますが、皆様のこの集会へのご賛同とご支援がなければ、円滑に進行させることはできません。とりわけ、財政面でのご支援が不可欠でございます。

さらに、これまでの科学者集会におきましては、各専門分野より多数の科学者のご賛同・ご支持を頂戴し、そのご芳名を毎回発表させていただきましたことが、集会成功の大きな力となって参りました。本年も何卒よろしくご参加、ならびに賛同・支持募金へのご協力を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

敬具

記

1. 募金名称：「原水爆禁止 2017 年世界大会・科学者集会賛同・支持募金」
2. 募金目標： 60 万円
3. 一口： 2000 円（可能なら複数口ご協力いただければ幸いです）
4. 賛同・支持、および同募金をお寄せくださいました方々のご芳名を公表させていただきたいと存じますので、公表の可否なども含め同封の振替用紙にてご連絡下さるようお願い申し上げます。
5. 期日：可能な限り 7 月 20 日頃までをお願いいたします。
6. 送金先：〒113-0034 東京都文京区湯島 1-9-15 茶州ビル 9F、
日本科学者会議気付
原水爆禁止 2017 世界大会・科学者集会実行委員会

■郵便振替口座 00180-8-86906

口座名 日本科学者会議

または

■三井住友銀行 神田支店（店番号：219） 普通：0941067

口座名 日本科学者会議